

埼玉県



研修の手引き

2025 年度版 (2025.5.15 更新)

一般社団法人 埼玉県介護福祉士会

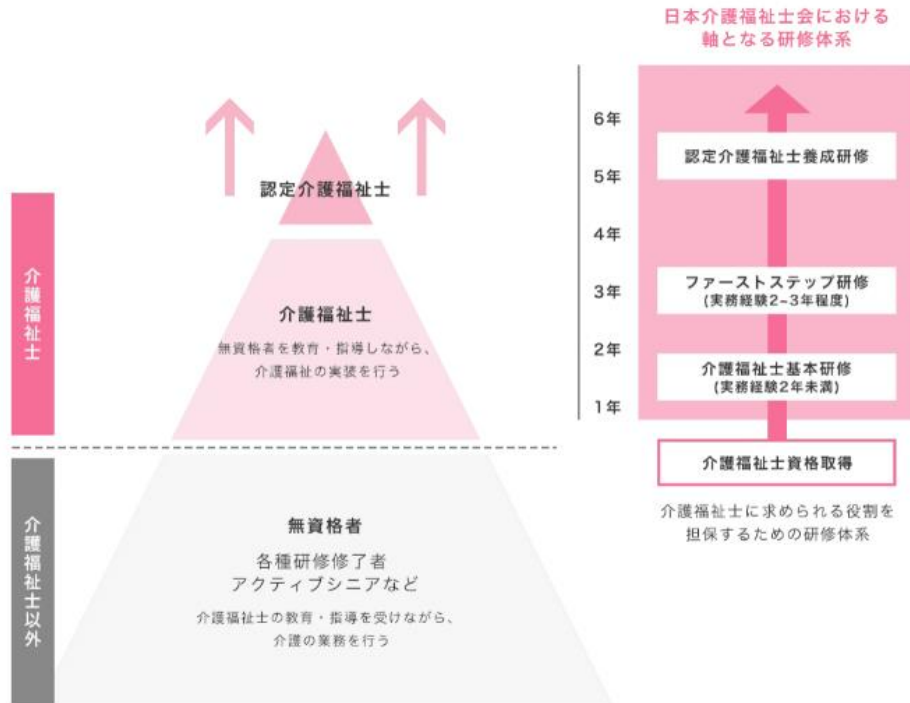
※例年、6 月にかけて募集を開始しますので、ホームページにてご確認ください。

各研修要綱と申し込みフォームはホームページをご確認ください。

埼玉県介護福祉士会の開催する研修について

埼玉県で開催する研修は、以下の通りです。

※ブロック研修等の開催状況は、地域によって異なります。詳しくは、研修担当者へお問合せ下さい。



このほかにも、職能的研修として

- 多職種連携等に関する研修
- 介護過程の展開を強化する研修
- 新カリキュラム対応介護実習研修
- 災害ボランティア基本研修
- 地域共生社会に関する研修(旧:障がい領域研修)
- 中核的な役割を担う介護福祉士資質向上研修(新リーダー研修)
- 介護福祉士養成課程における介護実習指導者の要件となる介護福祉士実習指導者講習
- 介護職種の外国人技能実習生の指導者向けの介護職種の技能実習指導員講習
- サービス提供責任者研修

全国の都道府県介護福祉士会と連携して、それぞれの研修を実施しています。

研修ポイント（会員特典）

日本介護福祉士会及び都道府県介護福祉士会では、各種研修等を受講した場合、研修ポイントを付与しており、ポイントを使用した受講割引の仕組みを導入しています。

研修ポイントの仕組み

- ・ 日本介護福祉士会又は都道府県介護福祉士会が実施する研修を受講した際に、受講時間数等に応じた研修ポイントが付与されます（研修ポイントは「生涯研修手帳」で管理いただきます）。
- ・ 研修ポイントは、100 ポイント取得するごとに、日本介護福祉士会又は都道府県介護福祉士会の開催する研修会の受講料として使用できる「1,000 円分の研修受講券」を手に入れることができます。

研修ポイントの申請

研修ポイントは、日本介護福祉士会又は都道府県介護福祉士会が開催する研修等において、次のように算定されます。

- ・ **研修時間1時間毎に1ポイント付与されます。**
- ・ ポイントについては、埼玉県介護福祉士会で申請をします。
- ・ ただし、日本介護福祉士会全国大会・日本介護学会に参加した場合は、時間に関係なく10ポイント付与されます。
- ・ なお、各研修等のコーディネーターや講師、発表者、シンポジストとして参加した場合等の基準は、日本介護福祉士会ホームページをご確認ください。

<https://www.jaccw.or.jp/about/kenshu>

・ 各研修の概要と申し込みから受講終了までの流れ

『共通』

- ・ 関係機関のホームページへ掲載されますので、お申込み方法をご確認ください。
※掲載機関・・・埼玉県介護福祉士会、埼玉県社会福祉協議会（例）等
- ・ 会場への直接のお問い合わせは、ご遠慮ください。
- ・ お申込み後の受講有効期間は、3年となります。
- ・ 詳細は、各研修要綱をご確認ください。資料送付等の個人対応は行っておりません。
※研修期間中の連絡方法は、受講票に掲載し、お知らせいたします。
- ・ 年度を持ち越す際は、次年度の募集要項が出たのち、各自でお申し込みください。

①介護福祉士 基本研修（資格取得後～実務経験2年未満 推奨）

介護福祉の専門職である介護福祉士として、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、介護過程の展開等を学び、根拠に基づいた質の高い介護の実践力を培う。

ファーストステップ研修（※1）を受講するためには、基本研修を推奨しています。

（※1）処遇改善に関する加算要件に認められている研修です。

受講料： 会員 20,000 円（テキスト代、修了証発行手数料込み）
 会員外 40,000 円（テキスト代、修了証発行手数料込み）

付与ポイント：24P

※本研修に課題提出はありません。詳しくは、開催要項を参照して下さい。

プログラム（全4日間：24時間）	
1日目 10:00～17:00	（講義）介護過程を展開する前提として・・・
	・求められる介護福祉士像
	・生活支援としての介護の視点
	・自立支援の考え方
	・介護福祉士に求められる知識と技術
2日目 10:00～17:00	（講義）介護過程の基本的理解
	・介護過程の意義と目的
	・介護福祉士の具体的な展開
	・介護過程とチームアプローチ
3日目 10:00～17:00	・事例1 『障がい者支援施設で生活するAさんの事例』
	（事例に基づく実践演習）事例1の課題
4日目 10:00～17:00	・事例2 『介護老人福祉施設で生活するCさんの事例』
	・事例3 『自宅で生活するEさんの事例』
	（事例に基づく実践演習）事例2，3の課題

・全過程を修了した方には、埼玉県介護福祉士会会長より『修了証書』を交付致します。

②介護福祉士 ファーストステップ研修(実務経験2年～3年 推奨)

資格取得後の「求められる介護福祉士像」を目指し、小規模リーダー（チームマネージメント）や新人の指導係として期待できる人材養成を目的とする研修。

受講料： 会員 60,000 円 （修了証発行手数料込み）
 会員外 120,000 円 （修了証発行手数料込み）
 付与ポイント：232P

※本研修は課題提出があります。以下のルールに沿って提出して下さい。

（適切な課題提出方法以外の受け取りは致しません。）

- ・課題の提出方法：

表紙に受講番号、氏名、課題テーマを記入。

2枚目から課題を記入。フッターにページをつける。 ・

今年度より課題は、メールにてデータ提出となります。

※指定されたアドレスまでメールで送信してください。

- ・課題の提出時**期限厳守**（事前課題：研修当日までに提出）

※事前課題の提出がない方は当日の受講はできません。

（事後課題：研修終了後2週間以内）※事前課題と同様

※当日、欠席・途中退席となる場合は、提出された課題は無効となります。

※**次年度に再受講が必要となる場合があります。**

『期限に課題が確認できない、提出した課題が合格とならなかった場合』

プログラム（全15日間：232時間）		
1日目：9：00～17：00	領域 個別ケア	介護職の職業倫理の実践的理解と展開
2日目：9：30～17：00		利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開
3日目：9：30～17：00		コミュニケーション技術の応用的な展開①
4日目：9：30～17：00		コミュニケーション技術の応用的な展開②
5日目：9：30～17：00		ケア場面での気づきと助言①
6日目：9：30～17：00		ケア場面での気づきと助言②
7日目：9：30～17：00	チームケ ア・連携	家族や地域の支援力の活用と強化
8日目：9：30～17：00		観察と記録の的確性とチームケアへの展開
9日目：9：30～17：00		職種間連携の実践的展開
10日目：9：30～17：00	チームの 運営管理 基礎	問題解決のための思考法
11日目：9：30～17：00		チームのまとめ役としてのリーダーシップ
12日目：9：30～17：00		セーフティーマネジメント
13日目：9：30～17：00		介護職の健康・ストレスの管理
14日目：9：30～17：00		自職場の分析
15日目：9：30～17：00	総合	総合学習

※ 初日のみ オリエンテーションがある為、9：00～となります。

全過程を修了した方には、日本介護福祉士会会長より『修了証書』を交付致します。

③ 介護福祉士 実習指導者研修

(職場において、実習生の受け入れ及び育成に関わる方)

介護福祉士養成カリキュラムの「介護実習」を指導する社会福祉施設等の実習指導者に対して必要な専門的知識及び教育方法を習得させるために本講習会を実施いたします。

“実習施設Ⅱ”の要件として、本研修が必須です。

受講料 : 会員 20,000 円 (テキスト代、修了証発行手数料込み)
 会員外 31,000 円 (テキスト代、修了証発行手数料込み)

付与ポイント：25P

プログラム (全4日間：25時間)	
1日目 9：20～17：00	(講義) 介護の基本
	・社会福祉士及び介護福祉士法、介護保険法、障害者自立支援法等の法制度、倫理等
	(講義・演習) 実習指導の理論と実際
	・実習の意義、目的
	・教育者としての実習指導者の役割
	・介護実習の目標
	・介護福祉士養成校との連携
2日目 10：00～17：00	(講義・演習) 介護過程の理論と指導方法
	①介護過程の意義と目的を理解する
	②介護過程展開のプロセスを理解する
	・アセスメント・課題の明確化・介護計画の立案・介護の実施・評価と修正
3日目 9：20～17：00	(講義・演習) スーパービジョンの意義と活用及び学生理解
	①実習におけるスーパービジョンの意義・目的を理解する
	②事例を通して学生理解及び指導方法について学ぶ
4日目 9：15～16：00	(講義・演習) 実習指導の方法と展開
	① 指導計画の作成と指導方法を理解する
	・介護実習指導計画の作成と指導目標
	・実習記録の書き方と指導方法
	・カンファレンスの持ち方、評価方法等
	(演習) 実習指導における課題への対応
	①実習指導における自職場の課題への対応方法について理解する
	(講義) 実習指導者に対する期待
	①専門職に求められる倫理、資質、能力等を理解する
	② 介護福祉士のキャリアアップと生涯研修制度を理解する
	③ 自職場における実習受け入れ効果の活用を理解する
	④ 多職種協働および地域での生活支援を理解する

・全過程を修了した方には、埼玉県介護福祉士会会長より『修了証書』を交付致します。

④ サービス提供責任者研修

サービス提供責任者には適切なアセスメント、それに基づく訪問介護計画書作成、自事業所の訪問介護員の調整、指導・教育など多くのことが求められています。サービス提供責任者の仕事や業務に必要な内容を学ぶことで、訪問介護サービスの質の向上を図るため、本研修を実施いたします。

受講料 ： 会員 20,000 円（テキスト代、修了証発行手数料込み）
 ： 会員外 40,000 円（テキスト代、修了証発行手数料込み）

付与ポイント：36P

プログラム（全 6 日間：36 時間）	
1 日目	（講義）介護保険法と訪問介護
10:00～17:00	・ 訪問介護事業の意義と魅力 ・ 制度上の位置づけ ・ 通知等の理解 ・ 利用者の特性
2 日目	（講義）訪問介護計画手順書の作成及び記録（予防）
10:00～17:00	・ 法を順守した介護計画 ・ 介護予防を重視した介護計画 ・ 事業所内での記録
3 日目	（講義）訪問介護計画手順書の作成及び記録（医療依存度）
10:00～17:00	・ 医療依存度の高い利用者の介護計画
4 日目	（講義）事業所内で部下を指導、教育する方法
10:00～17:00	・ 訪問介護計画に基づく仕事の仕方 ・ ケアチームのあり方 ・ スーパービジョン
5 日目	（講義）多職種との連携及びコミュニケーション
10:00～17:00	・ 多職種との連携 ・ コミュニケーション
6 日目 前半	（講義）介護保険法と訪問介護（医療知識や緊急時対応）
10:00～13:00	・ 介護事故やクレームへの対応と予防 ・ 日常的な利用者の健康管理と緊急対応
後半	（講義）介護保険法と訪問介護（個別事例・リスクマネジメント）
14:00～17:00	・ ケースカンファレンス ・ ”困難事例”への関わり方

・ 全過程を修了した方には、日本介護福祉士会会長より『修了証書』を交付致します。

IV. その他・・・

- ・ 募集について

定員に達した時点で締め切ります。(予告なし)

締め切り期日後、1週間過ぎても受講票が届かない場合は、ご連絡ください。

先着順となりますので、ご了承ください。

V. 受講案内が到着したら・・・

- ・ 氏名の間違いがありましたらお知らせください。

(修了証発行の際の氏名となります。)

- ・ テキストは会場でお渡しします。

- ・ 昼食は各個人でご用意ください。

(会場で食べることもできますが、ゴミは必ずお持ち帰りいただきます。)

- ・ 会場へは公共交通機関をご利用ください。会場の敷地内駐車場は利用できません。

- ・ 受講当日に持参いただくもの

『受講票、振込証明：受領証(控え)、スリッパ、筆記用具』

(ファーストステップ研修は、事前・事後課題があります。)

- ・ 研修要綱は、各自でホームページより印刷してください。

- ・ 開催日の変更があった際は、速やかに連絡をいたします。

(定期的にホームページ掲載も行いますので確認してください。)

- 受付は、受講開始 30 分前より行います。(会場は、30 分前に入館できません。)

会場のお手伝い頂ける方は、早めに入館できますのでご連絡ください。

また、開始 10 分以降の入室は認められません。

※研修を欠席された場合は、修了証の発行はできません。

翌年に受けられなかった科目を再受講していただきます。

⇒ 再受講を希望される場合は、再度受講申し込みから行ってください。

※参加費振込後のキャンセルや当日欠席された場合、参加費の返還は致しかねます。

ご了承ください。

※埼玉県 介護福祉士会 研修情報局（LINE オープンチャット）について
埼玉県で実施する研修に関する情報を不定期で発信します。研修の募集や締め切り等の情報もこちらから発信しますので、お知り合い同士や職場のキャリアパスにご活用ください。

⇒ QRコードで読み取ってください。



発信専用です。返信にはお答えできません。

※研修に関するお問い合わせは、

主催：一般社団法人 埼玉県介護福祉士会 事務局

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目2663 シンワ KI ビル

TEL：048-658-8869（代理受付サービス）

FAX：048-611-7830

Mail：info@saitama-kaigo.org